

ハ ハ コ グ サ

Gnaphalium affine

種名



分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称		生活型	二年草
分布	日本全土、朝鮮～東南アジア。				
形態	全体に綿毛をかぶり白色。 茎は下部で分枝して直立し、高さ10～30cm。 葉は倒披針形で全縁、長さ5cm内外、葉の上面にも綿毛がある。				
類似種					
生息場所	人里の畑地や路傍にごく普通にはえる。				
繁殖	花期は4～6月。ときには秋まで咲き続ける。長さ3mmのごく小さな頭花が茎の先に密集してつき、黄色に見えるのは総苞の色である。小花は白色で周辺に糸状の雌花、中心に筒状の両性花がある。瘦果はごく小さく、長さ0.5mm、汚白色の冠羽がある。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
トピック	春の七草の一つ、ゴギョウは本種といわれ、若葉は食用になる。				
その他					

引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変